



↘ p20 「右京山」本郷4丁目北部一帯。菊坂に慎ましく暮らした樋口一葉も、母や妹を連れて遊んだ  
↑ p131 「愛宕山」海拔26mといえども天然山としては都区内最高峰。「出世の階段」で名高いが…

## あっ、ここは「山」 だったんですね

← p116 「八幡山(亀が岡)」市ヶ谷駅のホームからビルの上に覗く。鶴岡八幡宮に対する亀が岡である  
✓ p44 「権現山」護国寺の裏山の旧称。かつて東照権現社があったが、現在は「豊島ヶ岡」とよばれる  
↓ p120 「木原山」大森駅前の天祖神社から南西方向に環七通まで続く峰





# 都区内で「お山巡り」



↑ p66 「**滝野川城址**」石神井川沿いには関東平氏の流れを汲む名門・豊島一族の城が点在していた  
 ↗ p27 「**神田明神男坂**」湯島台地から明神下方面を眺めると銭形平次親分の心持ち  
 ← p114 「**星が岡**」都心にもかかわらず日枝神社境内の山王稲荷への鳥居参道は異界へ続くかのごとくである  
 → p72 「**名主の滝**」都区内でこれだけ見事な滝は珍しいが、現在は電力を借りているため夜は止まってしまう  
 ↘ p143 「**西郷山**」渋谷、桜丘、鶯谷、鉢山と続く凸凹の先にある斜面公園。斜面は目黒川へと下る  
 ↙ p154 「**世田谷城址**」豪徳寺一帯は吉良氏の支配下にあった。周辺には常盤姫まつわる悲話が残る



↗ p160 「**箱根山**」築山だが標高 43m は山手線内最高峰  
 → p124 「**芳葉岡**」消失した御殿山、権現山から続く高台に聳える品川富士（品川神社）。展望は周囲のビルにも負けない  
 ↘ p186 「**野毛大塚古墳**」帆立貝式とよばれる前方後円墳。墳頂まで登れる  
 ↓ p48 「**鉄炮洲富士**」背面はビルに見下ろされているが、急峻な富士山で常時登拝可





## 東京「お山」の神様



♪ p182 「御岳山古墳」 目黒通りを挟んだ向かいの等々力不動尊が管理しているためか、修験密教ムードが色濃く漂う。墳頂には蔵王権現が祀られており、参道には多くの石仏が並んでいる  
 ♪ p108 「筑土城址（筑土神社）」 境内には桃の実を持つ二匹の猿が彫られている庚申塔があり、一部欠損してはいるが大変珍しく興味深い  
 → p80 「柳森神社の福寿神」 神田川沿い、柳森の土手に狸神が祀られている。このおたぬきさんは桂昌院が崇拝していただけあって妊娠中か  
 ← p146 「目黒元富士」 明治11年に取り壊され、昭和18年に一部の石祠や石碑が現在地に移転された。ボク石（富士山の溶岩）もない斜面富士塚だが手作り感一杯で、氏子衆のこだわりを感じる  
 ♪ p152 「鉄飛坂頂上」 大岡山から呑川に下る坂に帝釈堂がある。ここの庚申塔は青面金剛も邪鬼も鶏や猿までも素朴で良い表情をしている  
 ♪ p34 「狸山（千駄木山）」 麓の須藤公園には滝と池がある。この池端の休息所に「かっぱに注意」の札が下がっていた。かっぱは水神でもある

